

部品情報編

G7 キッチン改修

キッチン改修

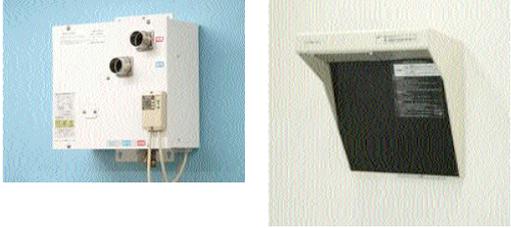
グループ分類

G7-4

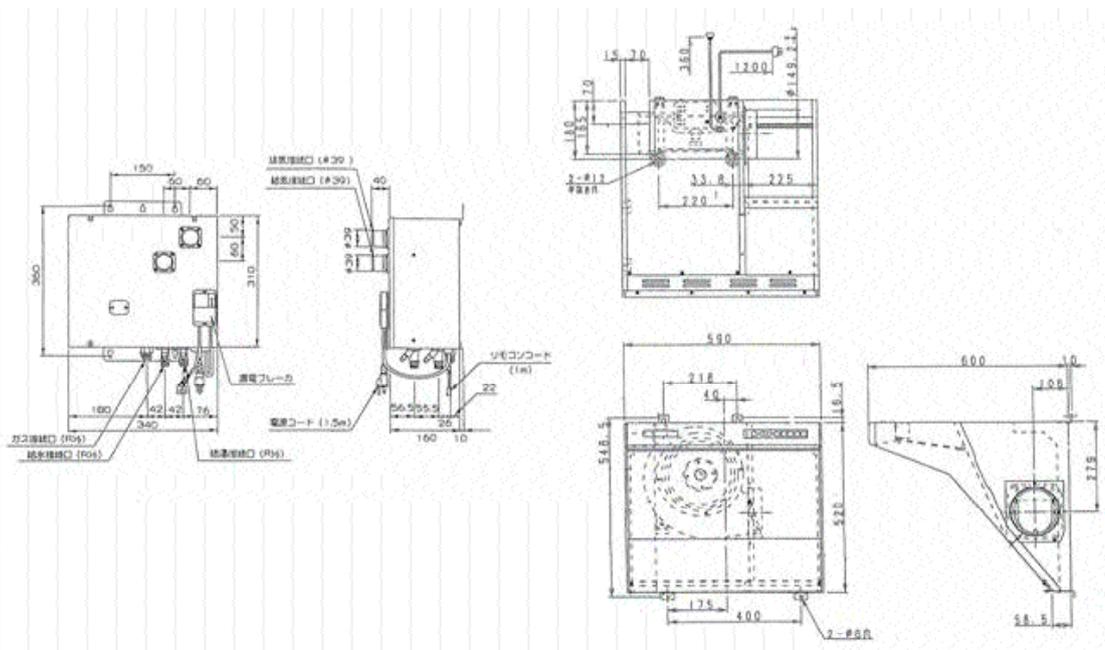
部品名称

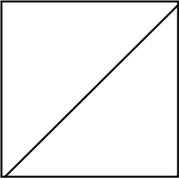
改修用部品分類

換気ユニット付き給湯器

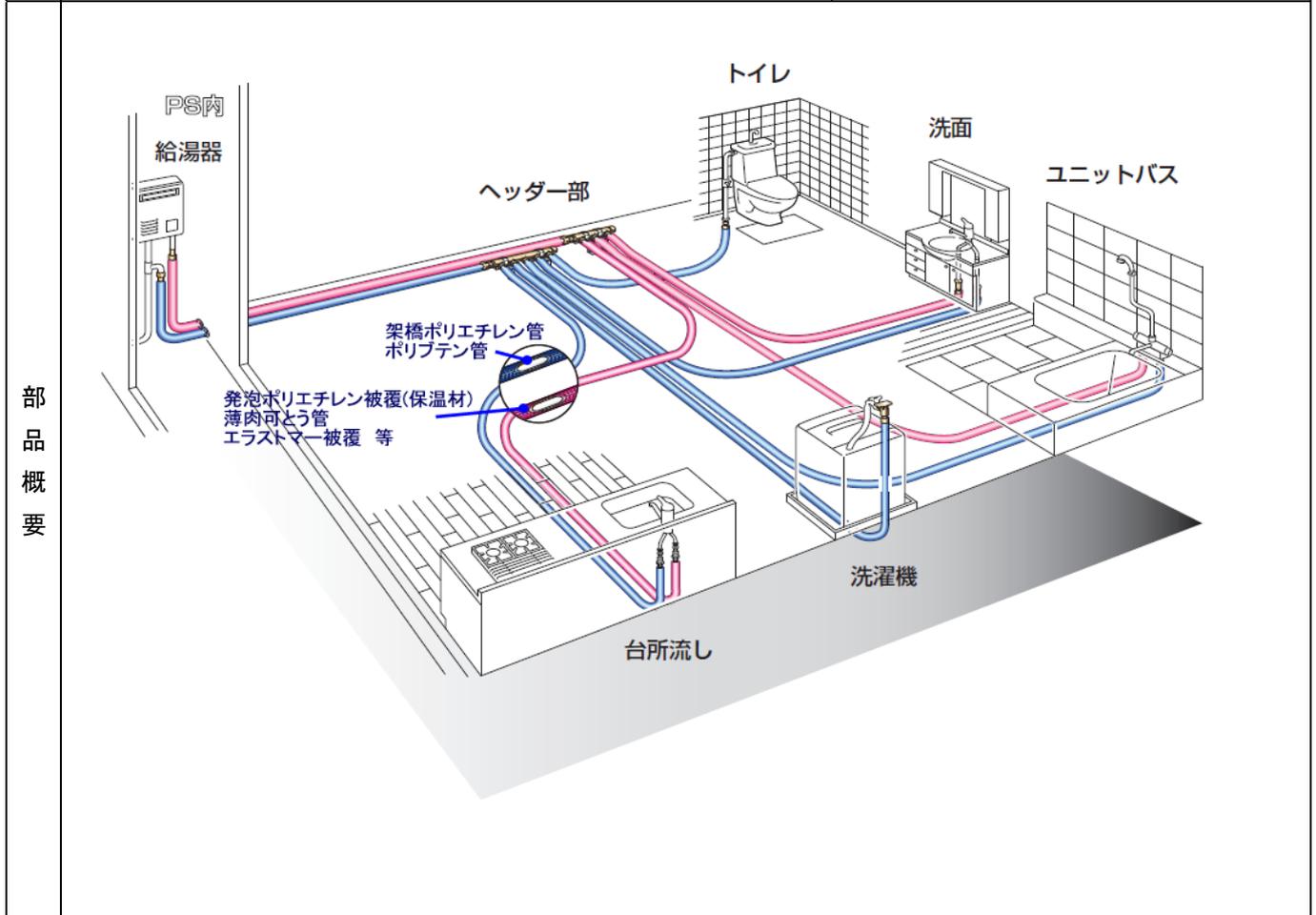
<p>ポイント</p>	<p>既存の換気口を路用して取付ける、レンジフードと一体化した給湯器。</p>	<p>設置イメージ</p>  
<p>特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器部とレンジフード部が分離され、梁などによる設置の制約が少なく、1人での施工が可能です。 ・FF式で、高気密化された住宅にも対応します。 ・レンジフードのみの運転が可能で、給湯器の安全装置も装備しています。 	
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯設備が組み込まれていない既存の集合住宅のキッチンリフォームに際し、給湯設備の組み込みとコントロール部も含めて十分な換気設備を同時に実現できます。 	

レンジフードは、右排気タイプと左排気タイプがあります。



キッチン改修		グループ分類 G7-7	
部品名称 樹脂管ヘッダー工法	改修用部品分類 配管ユニット		

ポイント	樹脂管ヘッダー方式により、ヘッダーから住宅内の各水栓に給水、及び、給湯を行うシステムです。	設置イメージ 
特色	<ul style="list-style-type: none"> ヘッダーと水栓以外での接続箇所がないため、漏水のリスクが低減される。 ヘッダーから水栓まで直接接続されるため、複数の水栓を同時使用しても流量変化が少ない。 配管材料は柔軟性に富む架橋ポリエチレン管、ポリブテン管を採用し、施工性に優れる。 	
概要	樹脂管ヘッダー工法は、給湯器周辺やパイプシャフト等に設置したヘッダーから途中で分岐することなく、各水栓へ配置する工法です。	



部品仕様	構成部品	概要
	給水・給湯管	架橋ポリエチレン管、ポリブテン管
	管保護材	発泡ポリエチレン被覆(保温材)、薄肉可とう管、エラストマー被覆など
	ヘッダー	主管から多数の配管に分岐するときに用いる継手
	接続部品	各給水栓を接続する継手
	支持具	配管が蛇行・不陸配管にならないように支持・固定するための支持具

標準的な設置方法

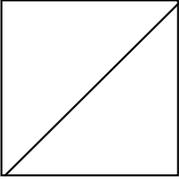
ヘッダー

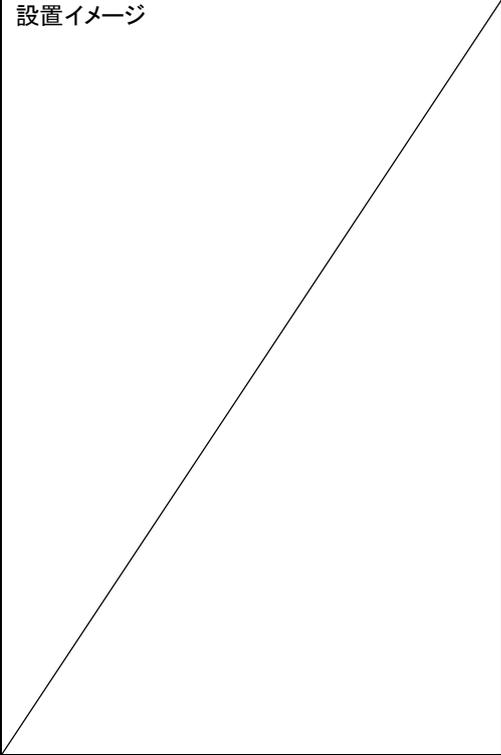
ユニットバス

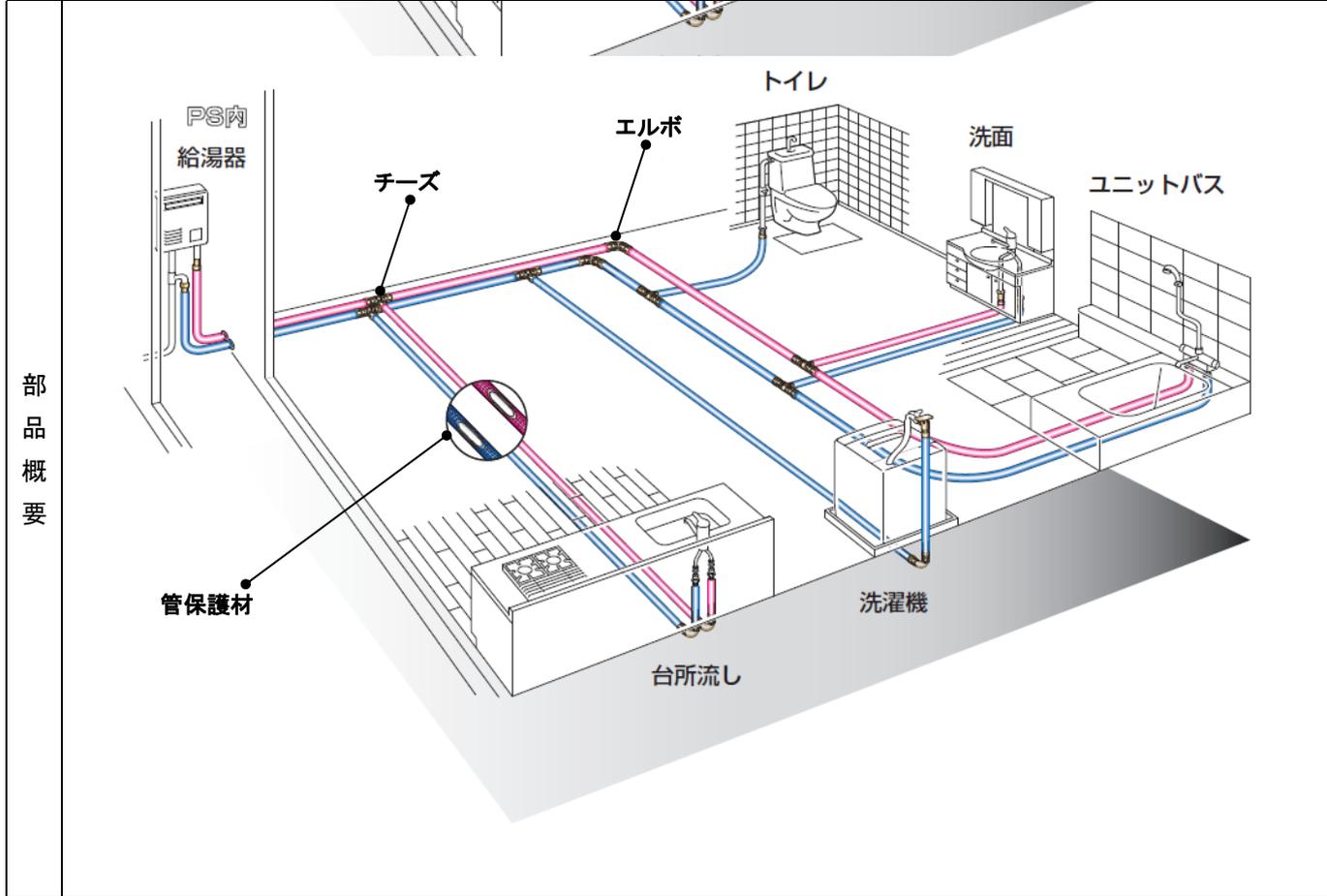
トイレ(壁取り出し)

設置条件等	特に無し
工事概要	特に無し

取扱企業	<ul style="list-style-type: none"> ・積水化学工業株式会社 ・株式会社ブリヂストン ・前澤給装工業株式会社 ・未来工業株式会社
------	--

キッチン改修		グループ分類 G7-7	
部品名称 樹脂管先分岐工法	改修用品分類 配管ユニット		

ポイント	給水・給湯配管を必要箇所に応じてエルボ、チーズ等で分岐する在来先分岐工法を樹脂管で行うシステムです。	
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・配管材料は柔軟性に富む架橋ポリエチレン管、ポリブテン管を採用し、施工性に優れます。 ・改修時に床板剥がし、張り替え面積が少なく、工事負担を軽減することができます。 	
概要	必要箇所に応じてエルボ、チーズ等の継手で分岐し、各水栓まで配管する工法です。	



部品仕様	構成部品	概要
	給水・給湯管	架橋ポリエチレン管、ポリブテン管
	管保護材	発泡ポリエチレン被覆、薄肉可とう管、エラストマー被覆などの外装材
	接続部品	各給水栓を接続する継手
	支持具	さや管が蛇行・不陸配管にならないように支持・固定するための支持具

標準的な設置方法	
----------	--

設置条件等	
-------	--

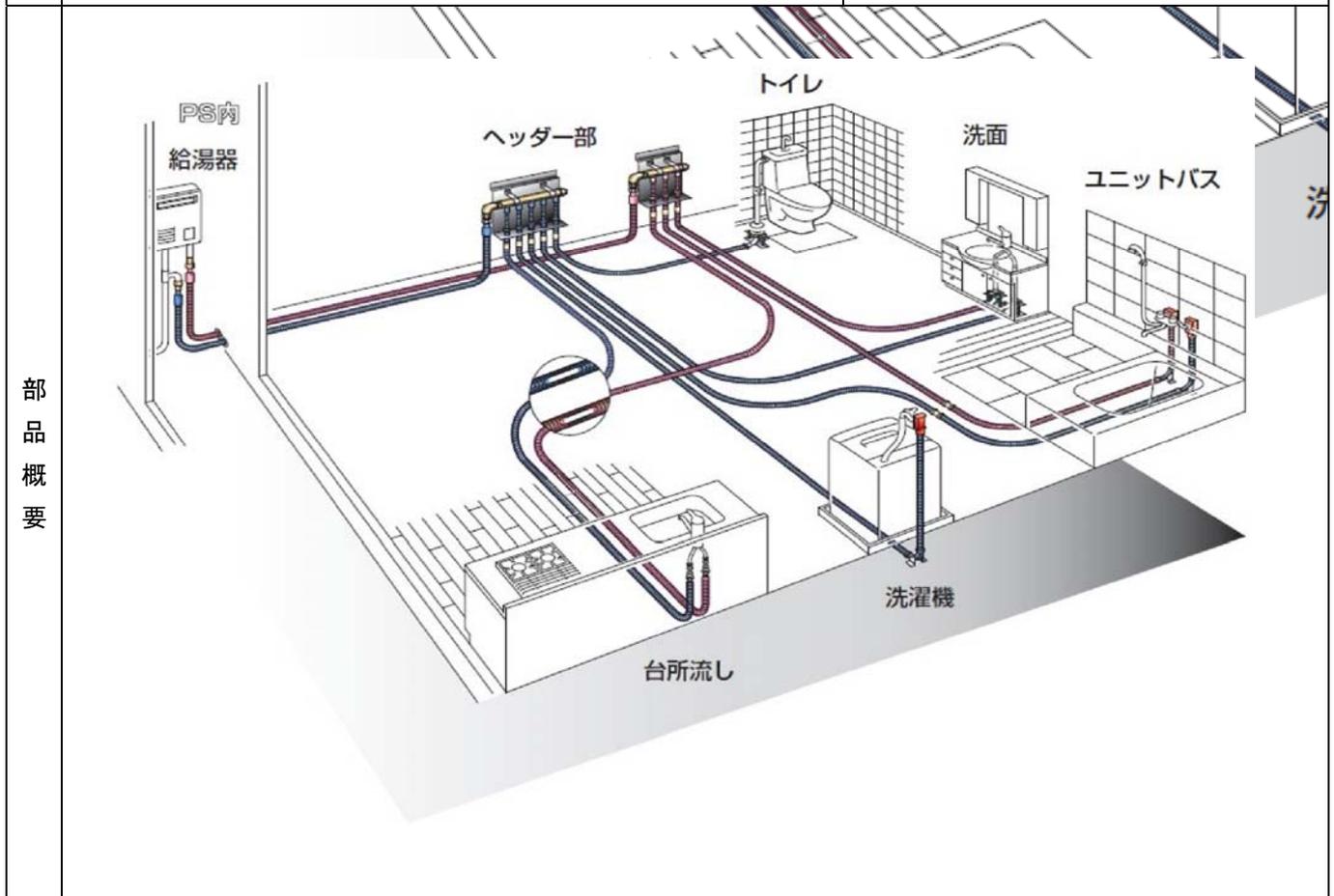
工事概要	
------	--

取扱企業	<ul style="list-style-type: none"> ・積水化学工業株式会社 ・株式会社ブリヂストン ・前澤給装工業株式会社 ・未来工業株式会社
------	--

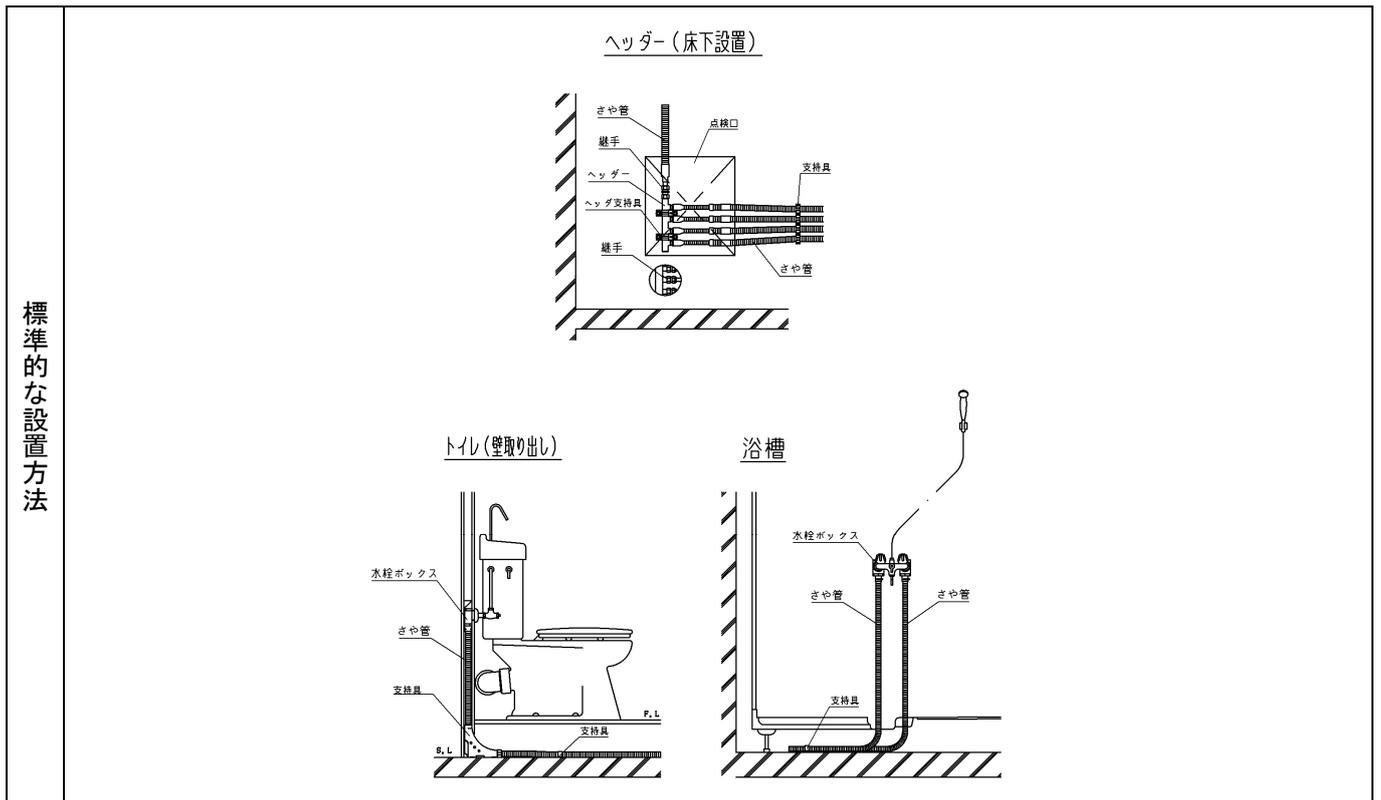
キッチン改修		グループ分類 G7-7
部品名称 さや管ヘッダー工法	改修用部品分類 配管ユニット	



ポイント	さや管ヘッダー工法により、ヘッダーから住宅内の各水栓に給水、及び、給湯を行うシステムです。	設置イメージ
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッダーと水栓以外での接続箇所がないため、漏水のリスクが低減される。 ・ヘッダーから水栓まで直接接続されるため、複数の水栓を同時使用しても流量変化が少ない。 ・配管材料は柔軟性に富む架橋ポリエチレン管、ポリブテン管を採用し、施工性に優れる。 ・配管を更新する必要があるとき、建築躯体や設備ユニットにほとんど影響を与えることなく、既設管を撤去し、新しい管に配管替えすることが可能。 	
概要	さや管ヘッダー工法は、床下にガイドとなるさや管を敷設し、給湯器周辺やパイプシャフト等に設置したヘッダーから途中で分岐することなく、各水栓へ配管する工法です。	



部品仕様	構成部品	概要
	給水・給湯管	架橋ポリエチレン管、ポリブテン管
	さや管	給水・給湯管の保護管、ガイド管となる外装管
	ヘッダー	主管から多数の配管に分岐するときに用いる継手
	接続部品	各給水栓を接続する継手、水栓ボックス
	支持具	さや管が蛇行・不陸配管にならないように支持・固定するための支持具



設置条件等	特に無し。
工事概要	特に無し。

取扱企業	<ul style="list-style-type: none"> ・積水化学工業株式会社 ・株式会社ブリヂストン ・前澤給装工業株式会社 ・未来工業株式会社
------	--